

2026/5/13, 20, 27, 6/3

自己創造のための教育体験活動 オリエンテーション (A, B, C)

西田尚央・有馬実世・原口るみ

本日の内容

1. 自己創造のための教育体験活動の概要
ねらい, 活動の流れ, 単位認定の仕組み
2. 心がまえと準備
3. 緊急時の対応
4. 仲間とディスカッション
5. 今後の予定, その他

出席カードを配布予定（類, コース（プログラム）, 学籍番号, 氏名を記入）。
オリエンテーション終了後, 出席カードと引き換えに「活動カード」を渡します。

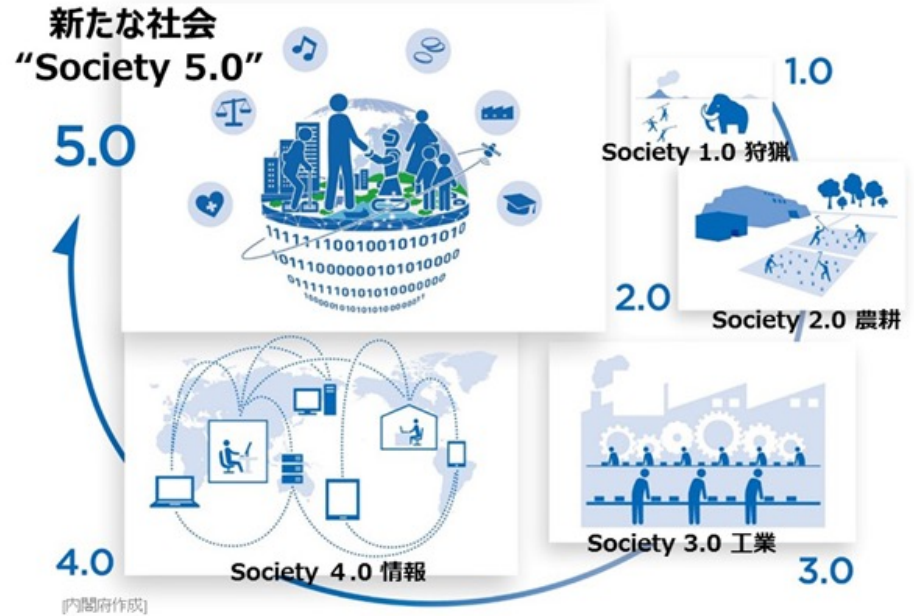
変化の激しい予想困難な社会に対応する資質能力が求められている

自己創造の必要性

The OECD Learning Compass 2030



<http://www.oecd.org/education/2030-project/teaching-and-learning/learning/>



[Society 5.0 - 科学技術政策 - 内閣府 \(cao.go.jp\)](https://www.cao.go.jp/society50/)

「変革を起こす力のあるコンピテンシー」(transformative competencies)を定義。それには「**新たな価値を創造する力**」(creating new value)、「**対立やジレンマを克服する力**」(reconciling tensions and dilemmas,)、「**責任ある行動をとる力**」(taking responsibility)の3つが重要。

「OECD 学びのコンパス2030」に対応した授業事例のショートビデオ | 東京学芸大学 次世代教育研究推進機構 (u-gakugei.ac.jp)

自己創造のための教育体験活動 A, B, C

3年次の教育実習に参加する前に、自らが求めて学校現場等である一定期間体験活動を行うことを通して、教職や教育支援職の意義や魅力を体感したり、その課題に気づいたりする。

参加にあたっては、ねらいを明確にした計画書を作成する。また、体験活動では教師や子どもの現実に触れる過程での気づきや考え、自己の成長を記録する。

まとめとして学生間の情報共有や議論の場を設ける。このようなプロセスを通して、教職や教育支援職を目指す上での自己のアイデンティティを形成するとともに、自ら学び、成長し続ける意義について理解する。さらに、ここで得た学びを基盤として、教育創成科目を選択して課題解決を図り、課題を明確化して教育実習に臨む。

1年生（E類のぞく）は、「全学共通入門セミナー」第3回の内容を思い出してみよう

教育創成科目を中心とした 「自律型カリキュラムデザイン」

学校体験を目的とした授業科目「**自己創造のための教育体験活動**」や関係科目の履修を経て、自らの課題認識を認識し、ひとりひとりが目標とする教師像を設定します。

「**自律型カリキュラムデザイン**」とは、その目標に向けて、「教育創成科目」を中心に自ら履修計画を立てることのできる**“生きた教員養成のプログラム”**です。

自分自身のカリキュラムを歩む



教職・教育支援職への意欲を高め、準備する！

【従来】

(1年生)

(2年生)

(3年生)



子どもとコミュニケーションを取る経験が浅く、伝わらないことも。たった1度の失敗経験で教職を諦める学生も。

【R5~】



自己創造のための教育体験活動

教育実習
(インターンシップ)



子どもとのコミュニケーションの経験が教育実習に生きる。教育実習で失敗があっても、教育体験活動での経験等により挫折しにくい。

実際に子どもとコミュニケーションを取ることにより、教職へのモチベーションアップに。

自己創造のための教育体験活動の価値

実態理解, やりがい,
感動体験, 失敗体験...

オリエンテーションへの参加
計画書の作成・提出

単に活動だけに終わらせない

報告書の作成・提出
活動交流会への参加

教育体験活動



- ✓ アイデンティティ形成
- ✓ 学び続ける意義への気づき
- ✓ 課題発見
- ✓ 教育者としての資質能力育成

教育創成科目等の選択

教育実習

大学でのより良い学びにつなげる



対象：高校生以下の子どもと関わる活動



授業参観



部活動指導補助



運動会指導補助



遠足引率補助



学習指導



授業研究会参加

大学の外には、様々な「教育体験」のフィールドがあり、多くの学びの機会が皆さんを待っています。

活動フィールド

**母校，近隣の学校・園，放課後子ども教室，NPO 法人の活動，
家庭教師，塾，など（自己開拓）**

- ・ 高校生以下の子どもを対象とした教育体験や授業参観などを広く認める
- ・ 学生に対する交通費や謝金が出ている場合も教育体験活動の時間にカウントできる

**学生キャリア支援室 HP
自己創造のための教育体験活動のページを活用**

ふらつと本町小

小金井市立
本町小学校を

ホームスクール
にする学生さんを



募集 しています!



写真とっておこう!

イチ押し!

ホームスクールに登録することで

- ✓ 前日、午前中（月曜日にボランティアしたい場合は金曜日の午前中）までにメールで連絡をすれば、翌日、ボランティアに入れます!
- ✓ 本町小からのボランティアの募集の告知を随時メールで受け取れます!
- ✓ 自分がやってみたいことを校長先生に相談できます!
- ✓ 本町小の校長先生や先生方や地域の教育支援者の方とのネットワークをつくれます!
- ✓ 「自己創造のための教育体験活動」のためのボランティアの時間にカウントできます!



登録したらどうなるの?

- ✓ フォームにて登録
- ✓ メーリングリストに招待される
- ✓ ボランティアをしたい日の前日（月曜日に活動したい場合は金曜日）の午前中までにメーリングリストで学校に連絡する（※授業がある日は、毎日ボランティアの需要あり）
- ✓ 学校からのボランティア情報（校外学習や調理実習など、特にボランティアが必要な場合の告知）がメーリングリストで送られてくる
- ✓ 校長先生に自分がやってみたいボランティアをメーリングリストで相談できる

どうしたら登録できるの?

右記の
Google フォームにて
登録をしてください。



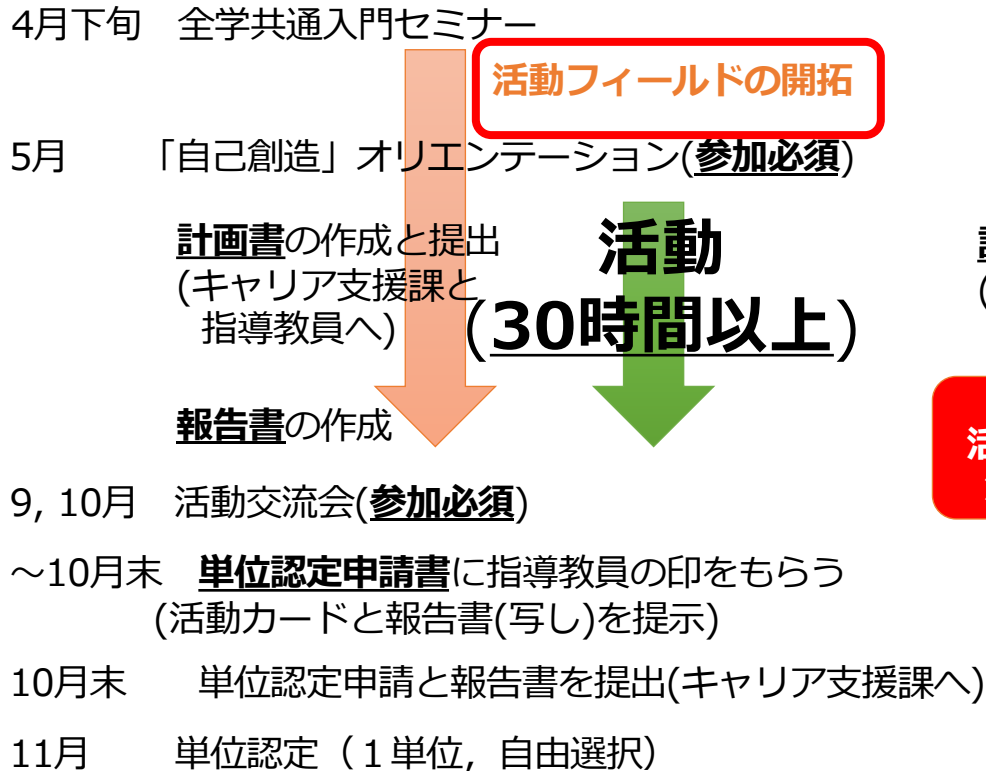
本町小の校長先生よりのメッセージ!



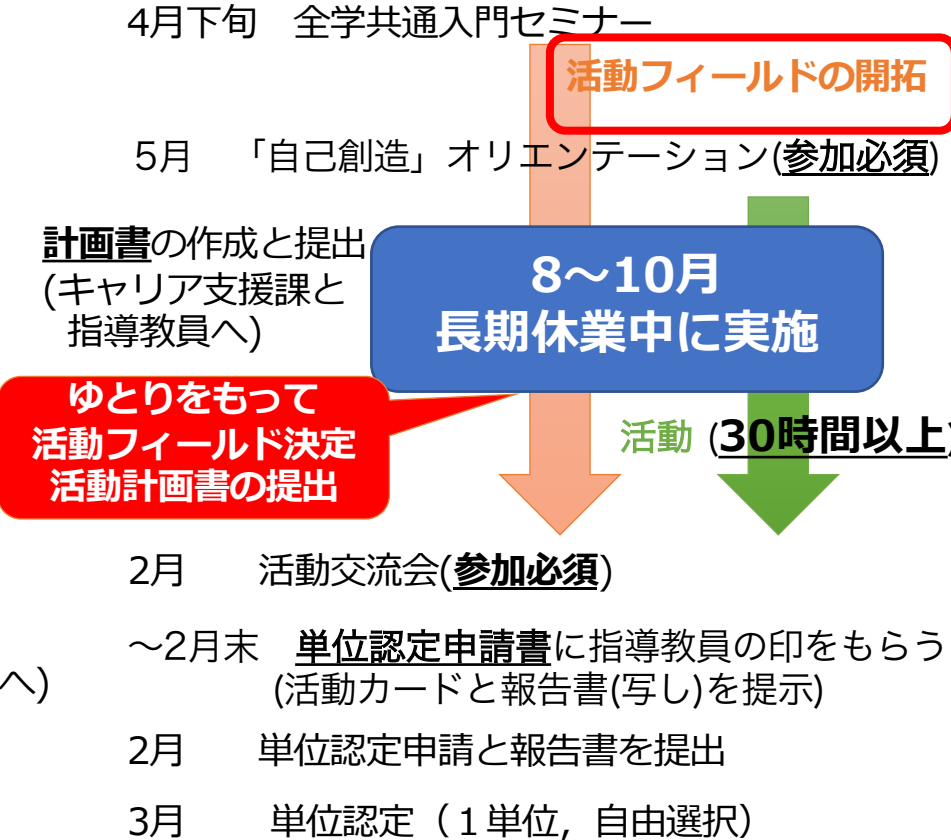
小金井市立本町小学校では、教職や教育に関わる仕事を志す学生の皆さんの若い力を必要としています。子供たちと一緒に活動し、楽しく働く先生方の仕事っぷりをすぐ近くで見ることが、きっと新しい発見が多く、「先生になりたい!!」という想いが強くなることでしょう。無理をせず、できる範囲のボランティアで大丈夫です。ふらつと気軽に寄ってもらえると嬉しいです!!

単位認定の流れ

【例1 春学期で完結】



【例2 1年間でじっくり】



* 通常の履修登録システムとは別枠

* CAP 制度の適用外

HP にアクセスしてみよう！



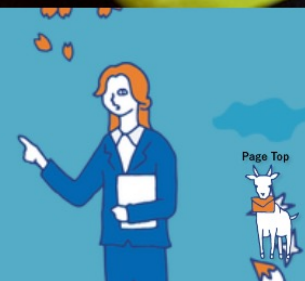
自己創造のための 教育体験活動



自己創造のための教育体験活動とは？

教育実習に参加する前の1,2年次に、自らが求めて学校現場等である一定期間体験活動を行うこと
で、教職の意義や魅力を体感したり、その課題に気づいたりすることを目的とした科目です

[詳しくはこちら](#)



Page Top

書類：活動フィールドへの説明資料

6. 各種書類

こちらでは、自己創造のための教育体験活動の授業を履修するための重要なデータを掲載しています。

単位認定申請書及び報告書の締切日は、次のとおりです。

期限厳守でお願いいたします。

春学期:活動交流会終了～令和8年10月30日(金)

秋学期:活動交流会終了～令和9年2月12日(金)

1. オリエンテーションチラシ(2026年5・6月開催) **PDF** ※26.3.27UP※
2. オリエンテーション説明動画1(目的と概要)※24.4.4UP※
3. オリエンテーション説明動画2(単位認定の流れ)※24.4.4UP※
4. オリエンテーション説明動画3(心構えと緊急時の対応)※24.4.4UP※
5. 活動フィールドへの説明資料1(文書) **PDF** ※26.4.2文章改正UP※
6. 活動フィールドへの説明資料2(図) **PDF**
7. 情報管理・守秘義務等に関する誓約書(計画書提出前に必ず読むこと!) **PDF** ※23.8.31UP※
8. 計画書 **EXCEL** ⇒PDFに変換すること※25.8.19UP※
9. 健康観察表 **EXCEL**
10. 報告書 A4一枚程度 書式自由(説明のみ) **PDF** ⇒PDFに変換すること ※23.8.31UP※
11. 単位認定申請書 **EXCEL** ⇒指導教員に署名、捺印をしてもらってからPDFに変換すること ※25.8.19UP※
12. 自己創造のための教育体験活動お礼状 **PDF** ※26.4.8UP※

ダウンロード!

書類：フィールドへの説明資料

* 昨年度版から更新しました！

学校長・園長
教育関係機関・施設等責任者 殿

令和 8 年 4 月 吉日

教育体験活動等への学生受け入れのお願い

平素より本学の教育活動に格別のご高配を賜り、深謝申し上げます。本学では、教員養成の更なる充実を目指し、令和 5 年度より新科目「自己創造のための教育体験活動」を設置し、本年度も継続して実施しております。本科目は、早期から学生が現場での実践的な学びに触れることで、教職に対する使命感を育み、就業意欲を高めることをねらいとしております。つきましては、諸事ご多忙の折、誠に恐縮ではございますが、本事業の趣旨にご賛同いただき、格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

記

1. 依頼内容

(1) 学生の受け入れ **高校生以下を対象とした教育体験活動(学校以外も可)**

[学校での活動例]

- ・平日、長期休業中における教育体験活動：授業参観、指導補助、教材研究補助、授業準備補助、水泳指導補助、部活動指導補助、移動教室引率補助、放課後こども教室支援、研究公開への参加など
- ・週末の教育体験活動：運動会や文化祭等の行事における指導補助、部活動指導補助など

(2) 教育体験活動終了時、活動カードへの「押印、またはサイン」

- ・活動内容と活動時間を確認し、押印またはサインをお願いします。

2. 期 間 5 月～翌年 2 月

3. 対象学年 東京学芸大学教育学部 1、2 年生

4. その他

- (1) 必要に応じて面接等を実施していただき、受け入れの可否をご判断くださいますようお願い申し上げます。
- (2) 参加学生は大学にて「学生教育研究災害傷害保険(学研災)」等に参加しております。なお、各自治体や貴組織の規定により、別途ボランティア登録や追加の保険加入が必要な場合は、適宜手続きをご指示をいただけますと幸いです。
- (3) 本科目は通常の教育実習とは異なり、児童生徒との交流や授業参観などの補助的な活動を通じ、教育現場の現状を早期に理解することを主眼としております。これにより、学生が教職への意欲をより確固たるものにすることを目指しています。
- (4) 活動の実施に伴う謝金や対価の有無につきましては、貴組織の規定に準じていただいで差し支えございません。
- (5) 本科目は学生の自律的な学びを重んじております。万一、学生の取り組み姿勢や態度に不適切な点がある場合は、適宜厳しくご指導を賜りますようお願い申し上げます。また、状況により受け入れの継続が困難と判断される場合は、活動を中止していただいで差し支えございません。

以上

【問い合わせ先】東京学芸大学 キャリア支援課
〒184-8501 東京都小金井市貫井北町 4-1-1
e-mail: shushoku@u-gakugei.ac.jp

《参考》授業科目「自己創造のための教育体験活動」について

① 本科目のねらいと概要

3 年次の教育実習に参加する前に、自らが求めて学校現場等で、ある一定期間体験活動を行うことを通じて、教職の意義や魅力を体感したり、その課題に気づいたりすることを目的とする。参加にあたり学生は、ねらいを明確にした計画書を作成する。また、体験活動では教師や子どもの現実に触れる過程での気づきや考え、自己の成長を記録する。まとめとして学生間の情報共有や議論の場を設ける。このようなプロセスを通して、教職を目指す上での自己のアイデンティティを形成するとともに、自ら学び、成長し続ける意義について理解する。さらに、教育体験活動を通して得た学びを基盤として、教育創成科目を選択して課題解決を図ったり、課題を明確化して教育実習に臨んだりする。(別紙図 1 参照)

② 令和 7 年度対象学年

1,2 年生

③ 授業形態

選択 1 単位 「自己創造のための教育体験活動 A」「自己創造のための教育体験活動 B」「自己創造のための教育体験活動 C」の 3 単位取得可
オリエンテーション参加(計画書作成)、教育体験活動、ふりかえり(活動交流会参加、報告書作成)

自己創造のための教育体験活動 A, B, C

(1,2 年次)

教育創成科目の選択

3,4 年次教育実習
さらなる教育体験活動
教員就職意欲の向上



大学

事前指導
計画書の作成(目標設定)



事後指導(活動交流会も含む)
学びの共有、課題創出
報告書の提出(ふりかえり)

↓
合否判定



「継続してみよう」

「違う体験もしてみたい」

「教育っていいな」

「実習でこんなことしてみたい」

「子どもの成長に驚いた」



「先生って魅力的な仕事」

「大変だけど、やりがいがある」

「子どもが成長した」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

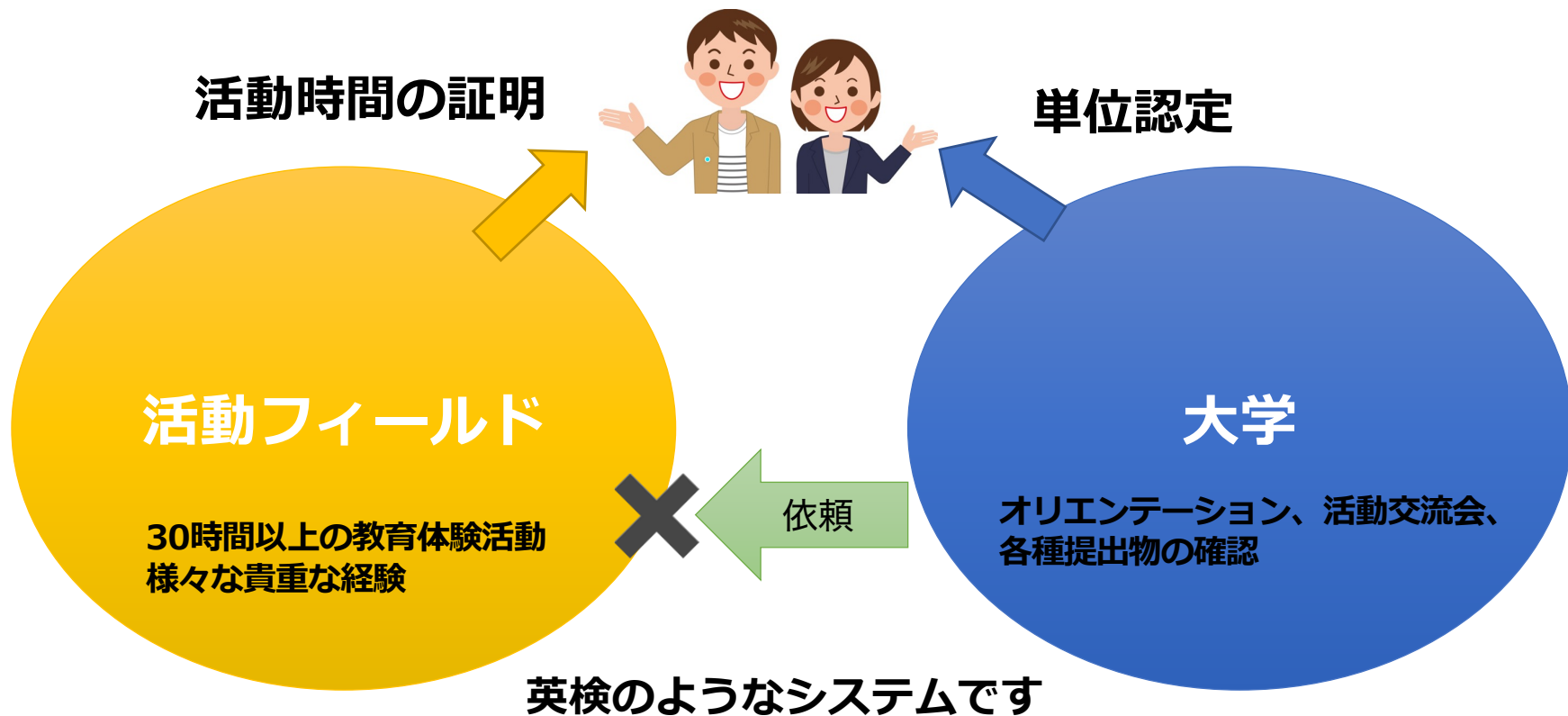
「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

「子どもの成長に驚いた」

活動フィールドと大学の役割



依頼状は出していません

通常のボランティア活動を単位として認めていこうという科目です。
学生の皆さんの主体的な活動がメインです！

書類：活動計画書

6. 各種書類

こちらでは、自己創造のための教育体験活動の授業を履修するための重要なデータを掲載しています。
単位認定申請書及び報告書の締切日は、次のとおりです。

期限厳守でお願いいたします。

春学期:活動交流会終了～令和8年10月30日(金)

秋学期:活動交流会終了～令和9年2月12日(金)

1. オリエンテーションチラシ(2026年5・6月開催) **PDF** ※26.3.27UP※
2. オリエンテーション説明動画1(目的と概要)※24.4.4UP※
3. オリエンテーション説明動画2(単位認定の流れ)※24.4.4UP※
4. オリエンテーション説明動画3(心構えと緊急時の対応)※24.4.4UP※
5. 活動フィールドへの説明資料1(文書) **PDF** ※26.4.2文章改正UP※
6. 活動フィールドへの説明資料2(図) **PDF**
7. 情報管理・守秘義務等に関する誓約書(計画書提出前に必ず読むこと!) **PDF** ※23.8.31UP※
8. 計画書 **EXCEL** ⇒PDFに変換すること※25.8.19UP※
9. 健康観察表 **EXCEL**
10. 報告書 A4一枚程度 書式自由(説明のみ) **PDF** ⇒PDFに変換すること ※23.8.31UP※
11. 単位認定申請書 **EXCEL** ⇒指導教員に署名、捺印をしてもらってからPDFに変換すること ※25.8.19UP※
12. 自己創造のための教育体験活動お礼状 **PDF** ※26.4.8UP※

ダウンロード!

自己創造のための教育体験活動

令和 年 月 日

計 画 表

種	コース	学籍番号	—	性別
	プログラム	指導教		
緊急時の連絡先(携帯電話)				

× 授業担当者 (西田)

履修する科目 A B C ※○を付ける。



◆教育体験活動の内容

例:小学校におけるボランティア

該当するものをチェック

Blank box for describing the activity content.

◆実施予定の活動フィールドと時期や頻度 ※30時間以上で計画すること

例①:春学期に附属小金井小学校で週1回(3時間)を10回で30時間
例②:6月にA小学校の日光移動教室、2泊3日(24時間)と授業研究会への参加(6時間)で30時間
例③:9-10月にB中学校で部活動の始動補助を週10時間×3、大会引率補助8時間で38時間

※活動を予定している活動フィールド先を記入すること(学校名、塾名、NPO法人名、等)

活動フィールド(受け入れ先)を明記

Blank box for recording activity fields.

◆教育体験活動で学びたいこと(目標)

Blank box for stating learning goals.

◆留意事項

- ・オリエンテーションに参加していないと履修できません。
- ・教育体験活動に参加する前に計画書を提出すること。
- ・指導教員に自己創造のための教育体験活動に参加することメールで報告し、計画書を添付して提出してください。
- ・学生教育研究災害傷害保険(学研災)に加入すること。
- ・キャリア支援課に計画書を提出してください(活動開始2週間前をめぐ)。提出により学研災が適用されます。
- ・ファイル名は次のように「A230000佐藤善人計画書」してください(ハイフンやスペースなし)。
- ・このエントリーの有効期限は1年間です。教育体験活動の年度をまたぐことはできません。
- ・活動フィールドが複数であっても、計画書は1枚の提出で構いません。

活動開始前に計画書を提出すること

HP上の誓約書(右)を確認してチェックを入れること

- 指導教員に参加を報告し、計画書を提出した
- 情報管理・守秘義務等に関する誓約書の内容を遵守する

情報管理・守秘義務等に関する誓約書

自己創造のための教育体験活動
授業担当者 様

私は、自己創造のための教育体験活動が有意義な学びの機会となるよう、以下の事項を厳守します。

記

- 1 活動フィールドにおいて知り得た情報(特に、幼児・児童・生徒、保護者、教職員に関する個人情報)は、活動フィールドの指導にしがたって適切に管理し、その保護に努めます。
- 2 自己創造のための教育体験活動が終了した後も実習期間中と同様に、活動フィールドにおいて知り得た情報を適切に管理し、その保護に努めます。また、教育研究上必要な場合においても、大学及び活動フィールドの許可無く、発表、公開、利用等を行いません。
- 3 自己創造のための教育体験活動に関する事柄をインターネット上に発信、掲載することなどは一切行いません。なお、報告書の提出作業(プロセスへの提出)は除く。
- 4 活動フィールドの幼児・児童・生徒ならびに保護者とは、自己創造のための教育体験活動期間中及び活動が終了した後も個人的な関わりを一切持ちません。特に、メールアドレス、携帯電話番号、LINE等のIDなどについては、教えたり聞いたりしません。
- 5 上記1~4に反する行為をした場合、大学から処分される場合があることについて、異議はあ

◎ 計画書の提出をもって保険(学研災)が適用

活動計画書の提出： 1. 指導教員にメール 2. Proself にアップ

5. 活動報告等

自己創造のための教育体験活動の手続きの順序は次のとおりです。
オリエンテーションへの参加⇒**計画書の提出**⇒30時間以上の教育体験活動⇒報告書の作成
⇒活動交流会への参加⇒**報告書と単位認定申請書の提出**⇒単位認定
各種書類(計画書、単位認定申請書、報告書)の作成は**必須**です！
(1)～(3)に記載している提出方法を確認してください。

▶(1)【活動前にすること】自己創造のための教育体験活動**計画書**の提出方法について

- ①計画書は、オリエンテーションに出席しなければ提出できません。
- ②計画書は、オリエンテーションに出席するより前に提出できません。
- ③活動フィールドが決定したら計画書を右上の日付を入力の上作成し、
指導教員に計画書をメール添付にて提出するとともに、本科目に参加することを報告してください。
※氏名の上に記載する「ふりがな」の入力忘れが目立ちます。必ず「ふりがな」を入力してください。
- ④指導教員に報告後、データを**PDF**に変換してください。
- ⑤データのタイトルを「(例)A230000学芸太郎計画書」としてください。
ハイフンやスペースは必要ありません。
【注意】タイトルの計画書の最後に、必ずアルファベットを入れてください。
A23-0000 学芸太郎さんの場合のタイトル名は、次のとおりです。
自己創造のための教育体験活動A⇒「(例)A230000学芸太郎**計画書A**」
自己創造のための教育体験活動B⇒「(例)A230000学芸太郎**計画書B**」
自己創造のための教育体験活動C⇒「(例)A230000学芸太郎**計画書C**」
- ⑥活動開始2週間前をめぐりにデータを**PDF**に変換してから**アップロード**してください。
なお、計画書をキャリア支援課に紙媒体で提出する必要はありません。

計画書アップロード先はこちら

⇒アップロード前に必ずデータを**PDF**に変換されているか？タイトルに誤りがないか？要確認！

⇒計画書をアップロードしてください。(春学期履修力...)

キャリア支援課で計画書を受理されると、【学生】自己創造のための教育...

ためしにクリック！

活動計画書の提出：Proself にアップ

東京学芸大学
Webファイルシステム

アップロード

公開アドレス: <https://proself.u-gakugei.ac.jp/public/vKJUQkEUSJW5Mg2ukcPmU0ZbMrx19DQHWRrMIFw5EgJ>

公開コメント:
単位認定申請書及び報告書の締切日は、次のとおりです。
期限厳守をお願いいたします。

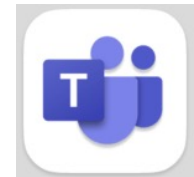
春学期:活動交流会終了～令和7年10月31日(金)

ここにファイルを
ドラッグ&ドロップ
または
ファイルを選択

Teams に登録

要確認

- ・ ファイル名 (A260000学芸花子計画書A)
- ・ ファイル形式 (PDF)



自己創造のための教育体験活動 B 活動カード

顔写真添付
(4×3 cm)

※履歴書で用いる
ような写真

ふりがな			
氏名			
学籍番号	学年	所属	コース プログラム
		類	

子どもの様子を観察したり、ともに活動したりすること、また教材研究や学習環境の整備などを通して、教育活動の魅力や難しさを体験しよう。

〈受け入れ先の方へ〉

本カードは、学生の教育体験活動を証明するものです。学生が記録した裏面の内容を確認し、相違がなければ押印またはサインをお願いいたします。

〈学生の皆さんへ〉

- 1 服装や言葉遣いなど、成人としてのマナーを守って活動してください。
- 2 活動で知れた情報を口外しないでください (SNS 含む)。
- 3 活動前に、裏面の活動日、活動場所、活動内容、時間を記入してください。
- 4 活動場所に到着したら、担当者に挨拶をしてください。
- 5 活動終了後、担当者に挨拶をして押印またはサインをお願いしてください。
- 6 帰宅後、報告書作成に向けて、活動で学んだことや感じたことを記録してください。

本カードは、教育体験活動に参加する際、必ず携帯してください。また、単位申請の際に指導教員に提示する必要があります。活動が終了しても、単位認定されるまでは紛失しないように保管してください。

活動参加前に記入			活動後に記入	
活動日	活動場所	活動内容	時間	押印またはサイン
例) 6/10(土)	小金井市立 A 中学校	運動部活動補助	会 2.5	
1 5/25(土)	小金井市立学芸大小学校	土曜参観で授業見学	4	
2 / ()				
3 / ()				
4 / ()				
5 / ()				
6 / ()				
7 / ()				
8 / ()				
9 / ()				
10 / ()				
11 / ()				
12 / ()				
13 / ()				
14 / ()				
15 / ()				
合計				時間

30 時間以上

活動報告書

1. 書式：A4 用紙 1 枚
2. 学籍番号, 氏名
3. 1,200 字以上
4. Word, Excel, PowerPoint 等で作成
5. 活動先が複数でも報告書は 1 枚で OK
6. 活動交流会で報告書の内容を紹介したり HP に掲載の可能性
7. 写真の使用は要確認
8. PDF に変換して Proself にアップロードして提出
9. ファイル名：「A260000西田尚央報告書」

ポイント：体験談（感想）ではない！

- ・活動先, 活動内容等の情報はきちんと記載
- ・学びの成果？課題？
- ・次の教育体験活動, 「教育創成科目」の選択, 教職科目の学び, 教育実習にどう生かすか？



活動報告書



活動場所 地域の絵画教室 ～『おばけちょうちん』をつくらう～

活動の流れ

まず、教室の講師からこの工作の試作を見せていただき、制作の工程に関する説明を受けた。この工作には木材の加工が必要である。そのため、のこぎりやハンマーを用いた工作の大変さ、面白さをこどもに体感してもらうことが目的であるという。

私も、実際に『おばけちょうちん』を作ってみた。工具を使い慣れていない子どもの目線に立って、安全な制作方法は何かだろうか、子どもがこの作品が完成してよかったと感じてもらうにはどうしたら良いか、これらのことを考えながら試作した。より工作をパワーアップさせるために、糸を用いてちょうちんの口をバカバカと動かすことができる仕組みを考えてみた。



この糸でバカバカ
動くよ！

試作の様子



実際の教室にも参加させていただいた。教室が始まる前に、その設営が必要になる。この絵画教室は場所を借りているため、床や壁が木の粉や絵の具で汚れないようにしなくてはならない。そのため、毎回ブルーシートを敷き、ビニールで壁を保護した。学校の授業運営以上に気を使わなくてはならなかったと思う。

教室は、2時間で8人、小学校1年生から5年生までの子どもが参加した。子ども達には最初に、この工作には工具を使うこと、先生の話をよく聞いてふざけて怪我をすることがないようにすることを話した。初めに、デザインシートを用いてどんなちょうちんを作りたいかを考えてもらった。講師の話によると、このシートは設計図としてではなく、こどもがイメージを広げるためのものとして活用しているという。子どもの考えたアイデアが実際に作れるかどうかは、あまり気にしていないようだ。

シートで考えたアイデアをもとに、木の板を糸のこで切る。何度ものこぎりを使っていく中で、子どもものこぎりに慣れていく様子だった。和紙を張り付ける作業は、筆で少しずつ張り付けるためにとても根気のいる作業だ。この作業に飽きたり、長い時間をかけたりしてしまう子どももいた。しかしその後の色塗りは、それぞれのアイデアを表現するために熱心に取り組んでいた。

ふりかえり

この工作は、たくさんの工程を通して一つの大きな作品を作ることが、その面白さであったと思う。完成した作品を子どもが親御さんを楽しそうに披露する様子は、見ていて長い時間をかけて作ってよかったと思える瞬間だった。

しかし、たくさんの工程を踏むことが子どもにとってつらいことでもあったと考える。和紙や木材など、さまざまな材料を用いた工作は、子どもが完成のイメージを一貫して抱きにくい。実際に作業に飽きてしまう子どももいた。材料の種類は、これから考慮しようと思う。また、絵画教室と学校の違いも考慮しなくてはならない。学校で美術教育をすべての子どもが学んでいるが、絵画教室やワークショップなど、学校外での美術教育も同様が必要とされている。学校とそれ以外の場所における美術教育の違いを、これからの学習で明らかにしたい。

各活動フィールドでの活動内容について

・板橋区立上板橋小学校：学童保育におけるボランティア活動を行った。主な活動としては、室内外の遊びの管理や一日30分程度日替わりで多種の企画活動として時間をいただき、私の専門種目である「柔道」について説明や実演を行った。

・板橋区立上板橋第二小学校：休日の課外活動におけるボランティアとして、「アルミホイルでステンドグラス製作」を行った。ここでは事前の準備や参加児童の誘導、作製において難しい過程の手助け等を行った。

・東京都立葛飾野高等学校：高校時代の顧問が指導している柔道部の活動補助を行った。全体への指示から個人への実技指導まで、また合同練習であったため年齢も中学生から高校生と幅広い指導を行った。

体験活動を終えて

年齢層の異なる活動フィールドでの体験を終えて、最も難しさを感じたのは言動への気配りである。

今回の活動で改めて言語化の難しさを痛感した。特に部活動指導では質問を受けた際に、素早く返答することができず、理解してもらおうための時間を要した。

また、年齢によっても工夫が必要だった。例えば、高校生に話す言葉をそのまま小学生に使えば、小学生は理解することができない。走る、投げるといった動作に関する能力も人によって個人差は大きい。

しかし、単に「高校生」「小学生」という区別であれば活動フィールドによって自身が順応していけばよい。だが、特に小学校では、幅広い年齢層、多様な子供が存在する。そのような場合と同じ「小学生」としてひとまとめにすることはできない。同じ内容でも、違う表現を用いて複数回説明することが必要だった。

私自身、上記の「上板橋第二小学校」のボランティアをはじめ、大学入学以前から教育体験の場に参加していたが、年齢を重ねるにつれ、コミュニケーションをとることが難しく感じるがあった。そして今回、「教育体験」という授業の一環ということで、自身の取り組み方について見つめなおした際、年齢差への配慮が不足していることを痛感した。今までは知識量の差も大きくはなかったために、その部分に配慮しなくとも取れていたコミュニケーションだったが、それが通用しないのが大人と子供の関係である。教員となった際には、素早い対応力が必要であると考えられるため、改善が必要だと感じた。

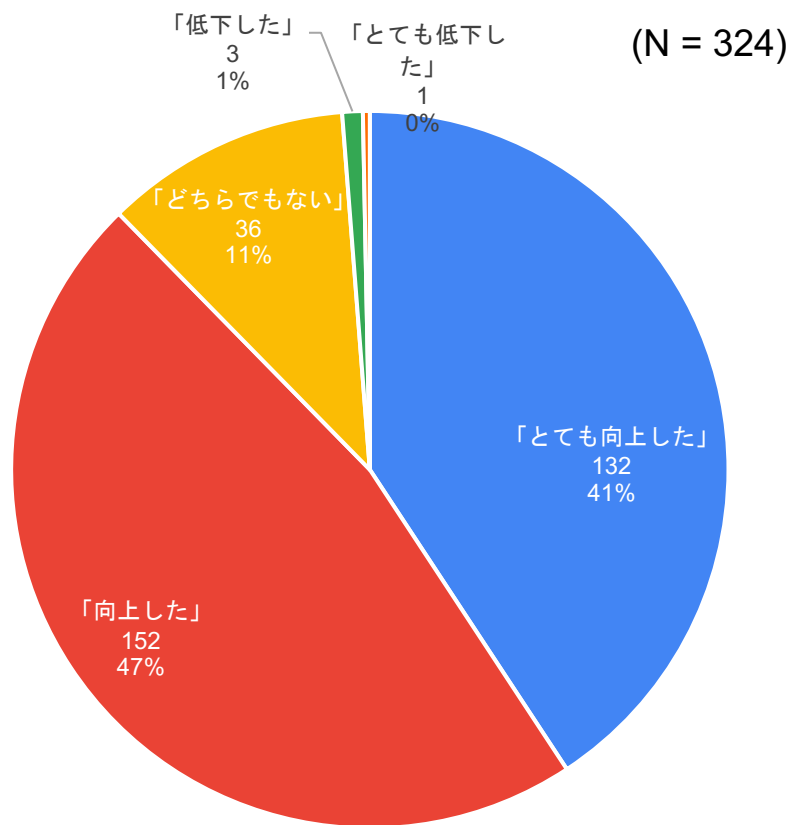
大学での学びに向けて

今回の経験を踏まえて、各学年への対応力が必要だと感じた。

そこで教育創成科目においては子供とのかかわり方、そしてその発展として学級全体とのかかわり方について学ぶべきであると考えた。基礎的な部分として、「子供の遊びと生活」「子供社会学」からまず「子ども」に対する理解を深めていくことが重要であると考えられる。そして「教室集団の人間関係」、「学級経営論」などの科目を通して、学級を経営していく手法や、その中で全体としての児童・生徒とのかかわり方等について学ぶことができる。

また、教職科目においては前述の科目等で培った能力をもとに実践し、試行錯誤を重ねていくことが重要であると考えられる。教育現場において、経験値を積むことは大切なことであると考えられるため、科目に関係なく引き続き教育体験活動に積極的に参加していくことが、教員となった際に素早い対応ができるようになる近道であると考えられる。

9. 自己創造のための教育体験活動に参加して、教員就職への意欲、あるいは教育支援職就職への意欲は向上しましたか。（1つ選択）



13. 「自己創造のための教育体験活動」について思ったこと（参加してよかったこと、困ったこと等）を教えてください（自由記述） **（活動について, 1）**

- 子どもと触れ合うことの難しさ。 言葉選びが大変。
- 週に 1, 2 回ほど体験活動を行ったが、 毎日働いている先生方はとても体力を使うし、大変だと思った。
- いままで生徒側の視点でのみいろいろ見ていたが、今回の活動で **教員側の視点**を少しだけではあるが、味わうことができたこと
- **教育に対しての自分の気持ちを再確認**できた、 **学校教育だけじゃない教育に対する興味関心**ができた
- 自分で理解することと理解してもらえるように 伝えることの難しさの差に改めて気づくことができた
- この科目がなければ小学校に自分で授業補助をさせてほしいとお願いしに行くのが難しかったと思うので **きっかけを得ることが出来**て良かった。

13. 「自己創造のための教育体験活動」について思ったこと（参加してよかったこと、困ったこと等）を教えてください（自由記述） **（活動について， 2）**

- これが良いのかはわからないが，単位がもらえるという気持ちだとそういったボランティアや教育活動により積極的に参加できると思った。
- 子供に友達感覚ではなく，しかし話しやすい関係になる為の距離感が難しかった。
- 教育現場に実際に行くことで子どもたちとの接し方に関する考えが大きく変わり，教師という職業への興味が深まったと感じたため，とても良かったと思っている。
- 大学だけでは生徒と関われる時間が教育実習しかないため，教育体験活動があることで児童生徒と関わる時間が増え，教員になった時に活かせると思った。
- 塾での教育活動であったが学習指導以外の面でも子どもたちと多く関わることができ，改めて子供と関わる職業につきたいと思うことができた。

わからないこと等は HP で確認！



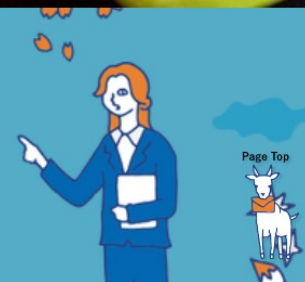
自己創造のための 教育体験活動



自己創造のための教育体験活動とは？

教育実習に参加する前の1,2年次に、自らが求めて学校現場等である一定期間体験活動を行うことで、教職の意義や魅力を体感したり、その課題に気づいたりすることを目的とした科目です

[詳しくはこちら](#)



Page Top

FAQ

▶ 自己創造のための教育体験活動に関する問い合わせについて

次のURLに、自己創造のための教育体験活動に関する学生からの質問及び大学側の回答例を掲載しております。
授業担当教員やキャリア支援課に問い合わせする前に、こちらをご覧ください。

↓ URL

[自己創造のための教育体験活動に関する学生からのFAQ](#) PDF ※2023年6月5日最新情報UP！

随時更新します。
この内容を確認してから質問してください。

自己創造のための教育体験活動に関する学生からのFAQ

No.	Questions	Answers	更新日
1	A類ですが、中学校での活動も認められますか	所属する専攻に関係なく高校生以下の子どもを対象とする活動であれば認められます。	令和5年4月20日
2	海外の活動も認められますか。	海外で行われる教育体験活動も認められます。どんどん行ってください。	令和5年4月20日
3	オリエンテーションに出なくても履修できますか。	オリエンテーションへの参加は必須です。そのため参加しないと教育体験活動を実施したとしても単位申請はできません。	令和5年4月20日
4	オリエンテーション前の活動も認められますか。	基本的にはオリエンテーション後の活動を対象としますが、個別に相談してください。	令和5年4月20日

ボランティア情報

ボランティア募集情報

活動フィールドを探す参考にしてください。

※活動フィールドは、必ずしも掲載情報から探す必要はありません。ここに掲載されていない活動でも、上記条件を満たせば単位を取得することが可能です。

▶ 大学に届いたボランティア募集情報

在学生向けページ「キャリア支援関係情報」の「教育現場での活動について」に掲載しています。

[閲覧はこちら](#)

▶ 近隣市町村のボランティア募集情報掲載ホームページのリンク

様々なボランティア情報が掲載されています。積極的に活用しよう。

2. 心がまえと準備

成人としての自覚を持ち，活動フィールドの一員として勤務する

本科目は，皆さんの「自律」を求めています．そのため，自らを律し，活動先での取り組みには責任をもって取り組んでください．以下の事項に違反し，活動フィールドから活動を断られたとしても，授業担当者がそれをフォローすることは難しいことを理解して臨んでください．

【期日・時間厳守】

- ・ **無断欠勤，無断遅刻を絶対にしない**．
- ・ 活動開始時刻や書類提出期限など，**期日・時間を厳守**する．

【移動・交通】

- ・ **自家用車やバイクの使用は厳禁**．
- ・ 移動方法は先方に確認すること．徒歩，自転車、公共交通機関の利用を原則とする．
- ・ 交通ルールを守る．

【節度ある行動・態度・身だしなみ】

- ・挨拶，言葉遣い，身だしなみ（髪型，色）に留意する。
- ・子どもに対する人権意識のある言葉遣いに留意する。
- ・参加時の服装，持ち物等は，活動フィールドでの面接で確認する。

【守秘義務】

- ・写真や動画の撮影禁止。SNSによる活動内容の拡散厳禁。
 - ・活動フィールドや子どもの情報の保護に気をつける。
 - ・活動フィールドの情報を外で話さない。
 - ・子どもと個人的な関わりを持たない。
- メールアドレス・携帯番号・LINE 等連絡先を聞かない，教えない。

【その他】

- ・体調不良等で欠席の場合は必ず活動フィールドに連絡。
- ・感染症対策等，健康に関係することは担当者の指示にしたがう。
- ・活動フィールドやキャリア支援課，担当教員から連絡があった場合，必ず折り返しの連絡をする。メールでの連絡があった場合も，確認後は必ず「確認しました」と返信する。

授業見学のポイント

2. 授業参観の方法

実習中には、担当のクラスその他で授業を参観する機会がたくさんあります。児童の学びの姿の把握や教師の関わり方など、あなたが授業をするときに役立つことを先生や仲間の実習生から学ぶよいチャンスです。

しかし、ただ漫然と見ているだけでは多くは学べません。自分なりに視点を持ち、記録の方法を工夫することで、同じ授業でも見えるものが随分ちがってくるのです。

次に、授業参観の際のポイントをあげます。参考にしてください。

(1) 授業記録の取り方

〈方法1：一人の児童を追う〉

「この子を知りたい」という子を一人決め、その子の様子を詳しく見ていきます。その子と教師、その子とクラスの子とのかかわりにも目を向け、記録をとります。記録には、その子の発言だけでなく、つぶやき、行動、表情、ノート記述の様子や内容などをよく見て記録します。

〈方法2：教師の動きを追う〉

児童の学習を支えるために教師がどんな動きをしているかを知りたいときは、上記〈1〉と同じ方法で追って記録します。

〈方法3：全体記録を取る〉

話し合いの授業などの場合は、全体記録を取る方法があります。児童や教師の発言を、発言順に記録します。児童の話は、なるべく言葉を忠実に記録しておくこと、後で解釈するとき役に立ちます。言葉の記録だけでなく、児童が話すときの表情や声の勢いなど、一緒に記録するとなおよいでしょう。児童の言葉のニュアンスも記録されている方が、その子の思いや考えなどを読み解く手助けとなります。

〈方法4：図に表す〉

机を離れての作業や話し合いなどの活動をしている場合は、活動場所の略図を自分で書き、その図に記録していく方法があります。休み時間や給食・お弁当の時間、図書室で読書している時間など、児童が自由に友達と過ごしているときの様子を図に記録すると、児童の友達関係が見えてきます。

(2) 授業記録を解釈し、そこから学ぶ

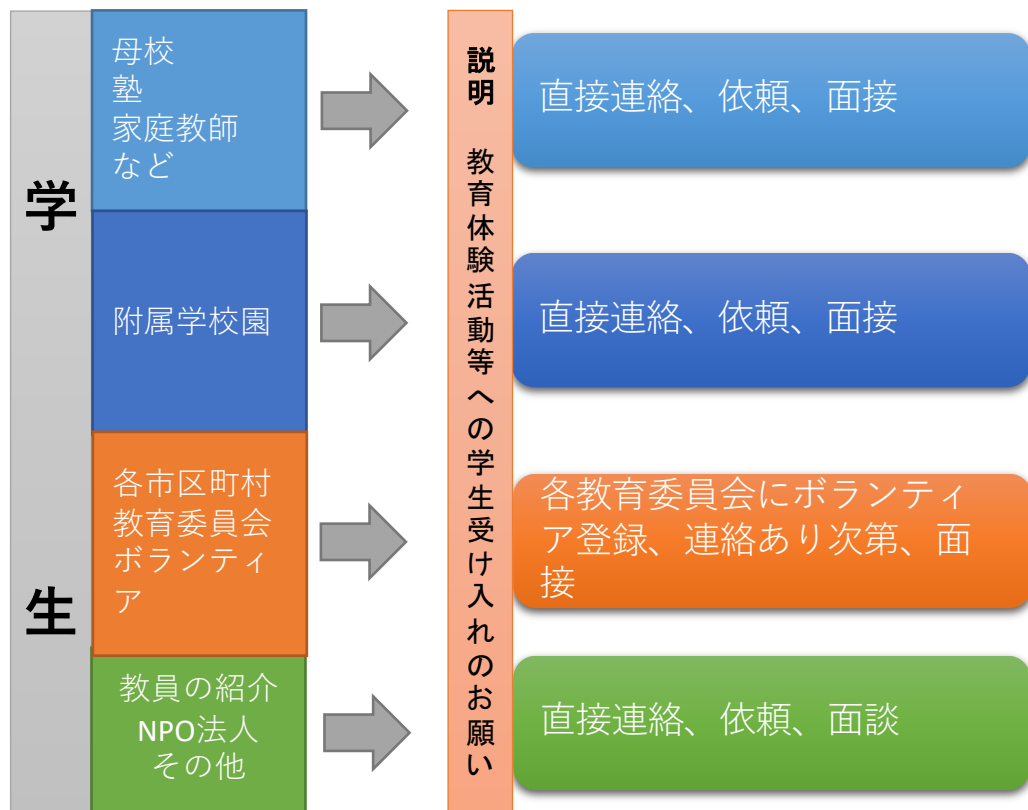
授業記録を取ったら、解釈します。記録を放っておいても構わないのです。「なぜ、この子（教師）はここでこのような行動をしたのだろうか?」「この発言の後に、この子はどうしていったのか?」「この表情には、どのような意味があるのだろうか?」など、自分の記録をもう一度読み返し、つなげてみましょう。そうすると、授業中には気づかなかったことが見えてきます。また、自分なりにその子のプロフィールも描けてきます。記録の解釈を通して、気づいたことやわかったことは、実習日誌に記録していきましょう。

- ・ 記録用紙, バインダー準備
- ・ 方法1) 1人の子どもを追う
- ・ 方法2) 教師の動きを追う
- ・ 方法3) 全体記録をとる
- ・ 方法4) 図に表す
- ・ 子どもとの関わりは極力避けて「空気」になる



ダウンロード!

活動フィールドへの連絡



活動したいけど、なかなかフィールドが見つからない人は、学生キャリア支援室HPを参照したり、指導教員や部活・サークル顧問などにも相談したりしてください。

【電話のかけ方の例】

「こんにちは、東京学芸大学1年の〇〇と申します。●●先生をお願いできるでしょうか」

「大学で自己創造のための教育体験活動という授業科目があり、お願いがあってお電話しました。お忙しいとは思いますが、授業科目に関してのご説明、また学校での活動受け入れについてご相談させていただくために、面談のお時間をいただきたいです。」

※電話では、面談の約束をとることを目的としてください。

※面談の時間は、10-15分程度が目安。スーツで伺うことが基本。

※学校であれば放課後の時間帯に電話をするとうい。

※面談では、参加する際の注意事項（服装、持ち物、マナー等）を確認してください。

<持参>

活動フィールドへの説明資料（文書、図）

① 保険（学生教育研究災害傷害保険）の適用

- ・ **学研災の加入を確認**。【計画書】の提出をもって適用。
- ・ 各教育委員会のボランティア制度を利用する場合、指定の保険制度も利用

② 体調管理

- ・ 活動日に意識的に健康チェックを行う。
- ・ 発熱等症状がある場合、必ず活動先の担当者に連絡・相談

③ 大学への報告

活動中のトラブルを自身だけで抱えず、活動フィールドの担当者に相談してください。活動フィールドの担当者に相談できないこと（例：パワハラ等）、または重大な事故等はキャリア支援課へ**報告**してください。その内容に応じて大学側で必要な措置を講じることがあります。

4. 仲間とディスカッション

「私はすでにこんな教育体験活動をしています」
「こんな体験があって感動した（困った）」

「私は母校に連絡したらWelcomeだったよ」
「どうやって連絡しよう。緊張するな…」
「こんな教育体験活動をしたいけど、活動フィールドが見つからなくて…」
「今こんなことが分からないんだけど…」

自己創造のための教育体験活動を実施するにあたって、今感じていることを自由に議論しましょう。
初めて「先生側」に立って、子どもたちに接していきます。不安なことは多々あるでしょう。
でも仲間も一緒です。先生方だってはじめはド緊張。
話し合っって仲間と解決の糸口をつかんだり、活動へ向けたエネルギーをもらったりしましょう。

5. 今後の予定, その他

自己創造のための教育体験活動 A, B, C

★活動交流会 (参加必須)

- ・ 9/2 (水) 3 限 (S410)
- ・ 10/21 (水) 4限 (W110)
- ・ 10/28 (水) 4限 (C303)

★単位認定申請書・報告書提出 締切 10/30 (金)

※参加日前日までの活動を認定

自己創造のための教育体験活動 B, C

★オリエンテーション(参加必須)

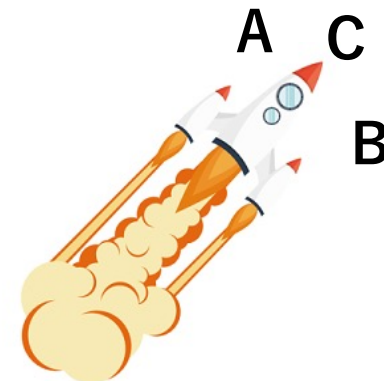
- ・ 9/2 (水) 4 限 (S410)
- ・ 10/21 (水) 5 限 (W110)
- ・ 10/28 (水) 5 限 (C303)

※A, B を終了予定の学生のみ参加可能

※オリエンテーション後の活動が認定対象

写真をとって
おこう!

教育実習
教員就職
インターンシップ
教育支援職へ



最後の確認

まず、履修のために行うこと

1. 活動フィールドの確保！

2. 計画書の提出！

- ★ 計画書をダウンロードし、作成
- ★ 指導教員にメール（もしくは直接提出）にて提出
- ★ 学生キャリア支援室 HP、自己創造のための教育体験活動のページから、Proself に提出

※学研災の加入がまだの人はお早めに！

